

(iii)

**ポスター作成方法**

- (1) ポスターサイズはA0版(幅841mm×高さ1189mm)が標準。ポスター掲示用に幅1200mm×高さ1800mmのパネル1枚を予定。パネルの前に机は置けない。
- (2) ポスターは軽金属学会ホームページ掲載の「ポスター作成マニュアル」に従って作成する。
  - ①表題には英文表題を並記
  - ②図表および図表のタイトルは英文表記
  - ③ポスター右肩にポスター番号P〇〇を表記
  - ④英語ポスター発表はすべて英語表記
- (3) 2部制で開催し在席時間は1時間。ポスターは10:00から12:00までに掲示を済ませ、当日の16:30までに発表者自身で撤去する。16:30以降残っているポスターは実行委員会が処分する。

**テーマセッション講演募集**

テーマセッションは、世話人が講演順、座長等を含め基調講演と一般講演をプログラム編成し、充実した討論を通じて参加者相互の実りある情報交換の場を提供します。

**テーマセッション1「キンクの材料科学(I)」****Materials Science on Kinking (I)****趣 旨：**

硬質/軟質ナノ層状構造をもつLPSO構造のキンク強化は新しい材料強化法として注目されている。特に、周期性に関わらない硬質/軟質ナノ層状構造は“ミルフィーユ構造(MFS)”と命名されて、マグネシウム合金にとどまらずチタン合金やアルミニウム合金などの軽金属やセラミックスに対して、MFS構造物質の探索とキンク強化が試みられている。軽金属学会でも、これまでにLPSO/MFS構造の材料科学に関するテーマセッションを8回にわたって開催するとともに、「LPSO/MFS構造研究部会」を立ち上げて研究を推進してきた。2024年には「キンク研究部会」を新たに立ち上げて、キンク変形とキンク強化に関する研究の推進を図っている。本テーマセッションでは、軽金属を中心に、LPSO/MFS構造物質の創製、キンク変形・強化のメカニズムと理論に関わる最新の研究成果に関する講演を募集

し、軽金属のキンク強化の学理について議論する。

世話人：河村能人(熊本大学)、垂水竜一(大阪大学)、  
阿部英司(東京大学)、藤居俊之(東京工業大学)、  
相澤一也(JAEA)

**テーマセッション2「押出加工中の微細組織と集合組織の予測と制御」  
Prediction and control of microstructures and texture during extrusion****趣 旨：**

軽金属の押出材は、建材や輸送機器の構造材として機械的強度や形状・寸法だけでなく表面性状などにもユーザーからの要望が厳しくなっているが、限られた納期とコストでこれにこたえている。近年は分析技術の向上から押出材の微細組織や集合組織を細かに観察することが可能となっており、これらを制御した押出材を生産することで品質の向上が得られるのではと期待されるようになった。そこで、本セッションでは押出条件が押出材の微細組織や集合組織に与える影響を調査した事例やシミュレーションで予測を試みた事例などを中心に、現状の研究状況に関して議論することを目的とする。

世話人：星野倫彦(日本大学)、本間智之(長岡技術科学大学)、  
寺田大将(千葉工業大学)

**軽金属奨学会「特別奨学生」セッション**

第141回大会より、公益財団法人軽金属奨学会との共催により、軽金属奨学会「特別奨学生」セッションを定期的を実施する。軽金属奨学会では、軽金属学術界の人材育成のため、軽金属に関する教育機関に在学する有為の学生に対し、研究に専念する時間を与え、創造性に富んだ研究者を育成することを目的に学費および研究費を交付している。本セッションでは特別奨学生の研究成果を発表するとともに、特別奨学生制度の紹介も行うので、軽金属学会会員、とりわけ、博士課程を目指す学生会員の聴講を期待する。